

《第76回》令和元年七月の作品

七月十二日（金）於・文京シビックセンター5D

郭公や轆轤ろくろまはして徹夜して
（一江）

梅雨空を映し小名木川おなぎの濁りかな
（清助）

若力士四股四股四股の夏巡業
（正佳）

姫沙羅の落花に雨の容赦なく
（芙沙）

井戸一つ残り青葉の屋敷跡
（隆治）

朝顔市DJポリス立つ入谷
（貴美）

豆腐屋の声近づきぬ半夏生
（孝昭）

初夏やパン屋の後にまたパン屋
（正雄）

石塀をそろりと降りる蜥蜴かな
（平六）

若女将の襟足しろがすり光る白緋
（前歩）

陽のさして一瞬色の青楓
（奉男）